

世界の気温の変化

1. 動機

僕たちが生きていく中（～2100年）で温度上昇によってどのような弊害が起こるのか気になった。

2. 説明

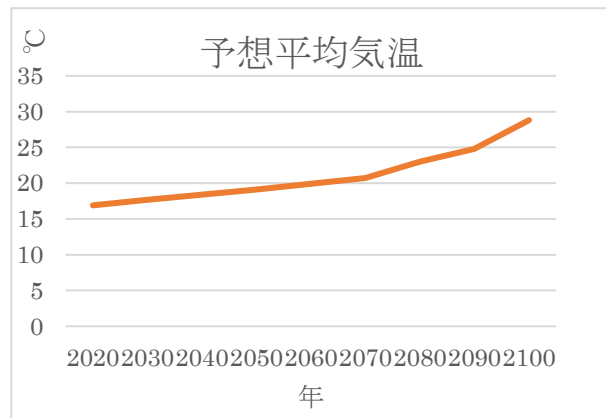
地球温暖化が進む様々な要因を数値化して、それをもとに統計学を用いて将来の現象を考察する。

3. 方法

- ・人間が地球温暖化対策をして環境に手を加えれば数値が不均一になるので、地球温暖化対策を何もしないものとする。
- ・二酸化炭素排出量が5億トン増えたとき気温0.5度上昇するものとする。

4. 結果

年	世界の二酸化炭素 排出量（億トン）
2020	84
2030	92
2040	99
2050	106
2060	114
2070	122
2080	145
2090	163
2100	203



5. 考察

人間が環境に手を加えなければ、2070年以降は急激に平均気温が上昇することが分かった。

6. 結論・今後の展望

そのまま温度上昇が続くと南極などの氷が溶けてしまったらどうなるのかと思ったので、次は氷が溶けて海面上昇がどうなるか数学的な見地から、探究していきたいと思う。

7. 参考文献

HP

「http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/monthly_s3.php?prec_no=44&block_no=47662&year=&month=&day=&view=a1」